

「ボスの条件」とは何かを考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. すべての仕事や活動には社会的使命(ミッション)があります。「使命」とは、漢字をたてに書く  
と「命を使う」という意味であることがわかります。「命を使ってまで行う仕事や活動をする目的  
とは何か」を、はっきり、わかりやすいことばで具体的に教えることができることが、ボスとして  
の第一の条件かと考えます。何のためにこの仕事や活動をするのか、その社会的意味は何か、何の  
ためにこの仕事をするのか、仕事の目的とは何かを明確に理解させることが、ボスとしての最も大  
切な役割かと考えます。
2. この仕事や活動の本当の顧客、お客様、名宛人(なあてにん)とは誰かを具体的に示すことが、ボ  
スの条件の第2と考えます。顧客を明確に定義することが、質の高い仕事や活動をする条件  
となるからです。その顧客をとりまく環境が激変している場合も多いので、激変している顧客のニ  
ーズとは何かについて注意を怠らないよう注意を与え続けるのも、ボスとして行わなければならな  
いことと考えます。
3. 段取り八分(だんどりはちぶん)。よい仕事や活動をするには準備が欠かせません。準備の中で最も  
大切なことは、仕事や活動の手順(てじゅん)、プロセス(Process)を頭のシンが痛くなるまで考え抜  
くことです。ボスは、段取り、準備の大切さを伝えることが求められます。
4. 準備のために大切なことは「選択と集中」。特にやらないことを明確にし、予め定めておくこと  
です。「これだけは絶対にしない」、「これだけは何が何でも行う」と決めておくべきことを教える  
のもボスの条件と考えます。
5. どのように学んだらよいのか、学び方を学ぶことの大切さを伝え、自分で学ぶ能力つまり自己学  
習能力を育てることは、ボスとしての大切な条件と考えます。仕事や社会的な活動をするには自ら  
の能力を強化した上で権限の大幅な委譲を受けなければなりません。「エンパワーメント  
(empowerment)」という英語には、「能力強化」と「権限委譲」の2つの意味があります。エンパ  
ワーメント実現のためには、学び方を学ぶスキルを身につける必要があります。

6 . 本人のもつ潜在能力とは何かを本人が発見し、それを本人の力で伸ばすことが、本人の自己実現のためには最も望まれます。本人の潜在能力の発見や伸長を促すことは、ボスとしての大切な条件と考えます。本人のよさや改善点を認識することを「自覚する」ということばで表現するならば、本人の「自覚を促す」ことがボスの条件と言えます。

7 . 自分は死んだ後、後の世に何が遺(のこ)せるのかを示すことがボスの条件と考えます。内村鑑三先生は岩波文庫の「後世への最大遺物、デンマルク国の話」の中で、人は死んだ後、お金、事業、著作(作品)、教育、生き方(生き様)の5つを後の世に遺せると言っておられます。ボスの自分は後の世に何を遺すことを目指しているのかが少しでも示せれば、ボスの条件を充足していると言えます。

以上